

厚生労働科学研究費補助金  
(難治性疾患等政策研究事業) 分担研究報告書

循環器難病に随伴する後天性フォンウィルブランド症候群の診断基準・重症度分類の確立

研究分担者 安藤献児・小倉記念病院循環器内科・主任部長

研究要旨：種々の循環器疾患症例を体系的に登録・解析し、その予後を追跡することで我が国における循環器疾患に合併する後天性フォンウィルブランド病の頻度や診療上の留意点を明らかにする。2018年3月9日現在、当院では325例の患者登録を行った。

A. 研究目的

後天性フォンウィルブランド病をきたしうる循環器疾患を体系的に評価し、後天性フォンウィルブランド病の病態を解明し、その対処法を確立することを目的とする。

B. 研究方法

多施設前向き観察研究であり、それぞれの対象循環器疾患ごとに、後天性フォンウィルブランド病および出血合併症の発症頻度・発症を来す臨床状況(検査値等)を横断的、縦断的解析により明らかにする。

(倫理面の配慮)

インフォームドコンセントを得て、研究を行った。さらにオプトアウトの機会を設けている。

C. 研究結果

2018年3月9日現在、当院では325例の患者登録を行った。

D. 考察：

症例は順調の集積しており、順次解析を施行する。症例登録は順調に進んでいるが、未だ十分ではなく、さらに蓄積していかなければならない。なお、平成29年度は当施設心臓外科の協力も得て325例の患者を登録した。平成30年度は、種々の対象疾患を多く登録したいと考えている。

E. 結論

平成29年度は症例を行った。

G. 研究発表

1. 論文発表

Shinya Ito, Hirotooshi Watanabe, Takeshi Morimoto, Yusuke Yoshikawa, Hiroki Shiomi, Satoshi Shizuta, Koh Ono, Kyohei Yamaji, Yoshimitsu Soga, Makoto Hyodo, Shinichi Shirai, Kenji Ando, Hisanori Horiuchi, Takeshi Kimura, (2018) Impact of Baseline Thrombocytopenia on Bleeding and Mortality After Percutaneous Coronary Intervention, **The American Journal of Cardiology**, in press.

2. 学会発表

三浦瑞樹、安藤献児、松本雅則、小亀浩市、堀内久徳:Aortic Stenosis and Acquired von Willebrand Syndrome: Insights from the AVeC Study. 第82回日本循環器学会学術集会、大阪、2018年3月24日

H. 知的財産権の出願・登録状況  
なし